



春日部市立桜川小学校

学校だより

11月号 令和2年10月30日発行

春日部市大倉496-1 TEL746-6238 児童数649名(10/30現在)

桜川小HP <https://schit.net/kasukabe/essakuragawa/>

学校教育目標

- 進んで学ぶ子(かしこく)
- 思いやりのある子(やさしく)
- 体をきたえよく働く子(たくましく)

地域と共に はぐくむ
やさしさと笑顔あふれる
活力ある学校

11月の生活目標

「自分から元気よくあいさつをしよう」
※気持ちの良いあいさつで、1日を始めよう

失敗を恐れず、チャレンジする桜っ子に！

2学期も折り返し地点を過ぎました。7日は立冬、朝晩の冷え込みも増し、冬の気配が感じられる時季になりました。先日行われた体育発表会、参観者はご家庭一人で入替制にするなどご不便をおかけする中での開催でしたが、多くの保護者の方々のご来校のもと、桜っ子は笑顔できびきびと一生懸命取り組むことができました。桜っ子への大きな、温かな拍手をありがとうございました。

さて、「教室はまちがうところだ」(蒔田 晋治 著)の中に次のような一節があります

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをワラっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと みんなで出し合い
言い合うなかでだんだんほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ



これは教室のあるべき姿であり、学校で友達と学ぶ良さだと思います。どの教員もこんなクラスにしようと日々取り組んでいるところですが、やはり間違えると恥ずかしいという気持ちは誰にでもあります。**そこで大事にしたいのは「努力の過程」**です。少し話がそれるかもしれませんが、中野信子さんの著書「空気を読む脳」(講談社新書)の中で、次のような実験が紹介されています。簡単に紹介しますと「(1)子供たちに知能テストを受けてもらう、(2)結果を伝える際、どの子にも80点だったと伝えるが、その後のコメントを①本当に頭がいいんだね(グループ1)、②努力の甲斐があったね(グループ2)、③何のコメントもしない(グループ3)に分けて伝える、(3)その後、さらに課題を与える際、すぐ解けてしまう易しい課題と、解けないかもしれないという難易度の高い課題の2つを用意し、選ばせる。」というものです。その結果、難易度の高い課題を選んだ割合は、「努力の甲斐があったね」と褒められたグループ2は90%だったのに対し、何も言われなかったグループ3は55%、「頭がいいね」と褒められたグループ1は35%だったそうです。この結果から「頭がいい」と褒められた子供たちは、「頭がいいという評価を失いたくないために、確実に成功できることばかり選択し、失敗を恐れる気持ちが強くなる」傾向が見られるとし、「**その子のもともとの性質ではなく、その努力や時間の使い方、工夫に着目して評価することが、挑戦することを厭わない心を育て望ましい結果を引き出す**」とまとめています。学校や家庭での言葉かけ一つで変えられるのかもしれませんが。(校長 加藤大二)

☆体育発表会を終えて ～音楽に合わせて、気持ちを合わせ、カいっぱい取り組みました～



みんなで"Dance！～桜っ子
パワー100%」(1年)



限界突破2年生
(2年)



咲き誇れ！3年生！
「紅蓮華」(3年)



桜っ子リズムソーラン
(4年)



LOSER～リズムなわと
び～(5年)



組体ソーラン2020
(6年)

体育館のトイレが完成しました。

6月下旬から始まった体育館トイレ工事が完了しました。工事期間中、ご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、大変きれいで明るいトイレが完成しました。このきれいさを保つためにも丁寧に使用してください。

体育館トイレの洗面所

11月は「いじめ撲滅強調月間」です。
埼玉県は、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に集中的に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたら一人で悩まず相談・通報してください。
○よい子の電話教育相談
(埼玉県立総合教育センター)
子供用 #7300(無料)
保護者用0120-86-3192
048-556-0874
お問い合わせ
埼玉県県民生活部青少年課
TEL048-830-2907

